

栄養疫学基礎講座

第1回（序論） みんなの提出課題（サンプル）

【課題】

1. この講座を受講する理由や、受講後にどうなっていたいか
2. 初めて知ったこと、感想など
3. 疑問、質問など

1. この講座を受講する理由や、受講後にどうなっていたいか

書籍や東京栄養疫学勉強会等で、栄養疫学に関して、学んだことはありますが、最初から最後まで順番に（体系的に？）学んだことがなかったので、復習になると思ったため受講しました。また、今後、現在、疫学や栄養疫学を教える機会があるので、参考にしたいと思い、受講しました。

3. 疑問、質問など

初学者でもわかりやすい内容で自分の知識の整理ができて良かったです。
今後ともよろしく願いいたします。

1. この講座を受講する理由や、受講後にどうなっていたいか

栄養疫学についての苦手意識をなくし、きちんと理解する。

2. 今回初めて知ったこと、感想など

記述疫学、分析疫学の分類さえ知らなかった。

自分は疫学のこと全く知らないんだなあと愕然とした。

- 1-4. 疫学研究を見る2が難しかった。

3. 疑問、質問など

統計の時に様々なバイアスがかかるのは理解できたが、なぜ 1-4 のコレステロールの例では、HDL コレステロール濃度、血清鉄、血清アルブミン濃度に絞って補正したのか？

様々なパラメーターがあるので、どれを選び補正すれば正しい結果に近づくかはどうやって決めるか？

そもそも正しい結果…というのはない！？

1. この講座を受講する理由や、受講後にどうなっていたいか

受講理由は、現在、社会人大学院一年生です。研究について初めてであり、短大卒で研究というものに触れてこず、一から学びたいと思ったからです。

受講後には、研究や疫学研究について、自分の研究について深く向き合えるようになること、社会に貢献できるように、どう活かせるか、考えられることです。

1. 参考書として挙げて頂いた佐々木敏先生の本は我が家の本棚にもあるのですが、また読み直さねばと思いつつ背表紙を眺めるだけの日々でした。今回の講座を機に参考書も読み直し、科学的な根拠に基づいた情報提供ができるようになればと思う次第です。まずは日本人の食事摂取基準の理解度を深め、きちんと活用できるようになることが目標です。

2. 疫学を介さずに実験結果のみで社会に活用しようとする困った流れや、分析疫学研究において曝露側の妥当性が低いものなど、臨床で働く中であるある！と感じていたことでした。疫学研究の見方についても、学生のうちはいまいち理解できた感覚がなかったのですが、今回説明頂き理解が深まりました。

3. 原因や結果の測定信頼度を評価することは、実際に疫学研究を行わない者にとってトレーニングを積むことが難しいように思うのですが、何かよい方法等ありますでしょうか。